

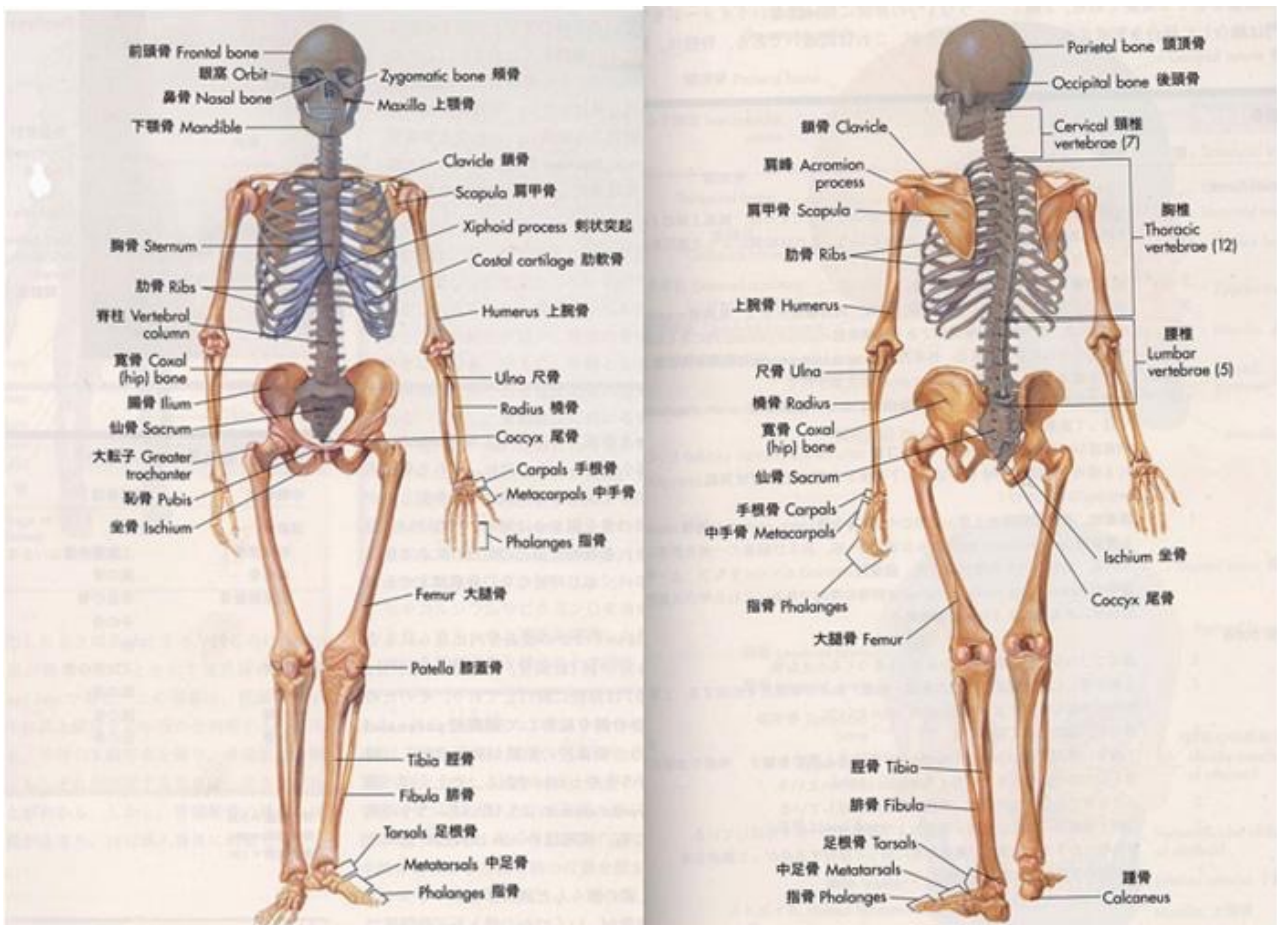
テレビ新広島文化大学講演

農業・環境シリーズ第16話 2009年9月8日

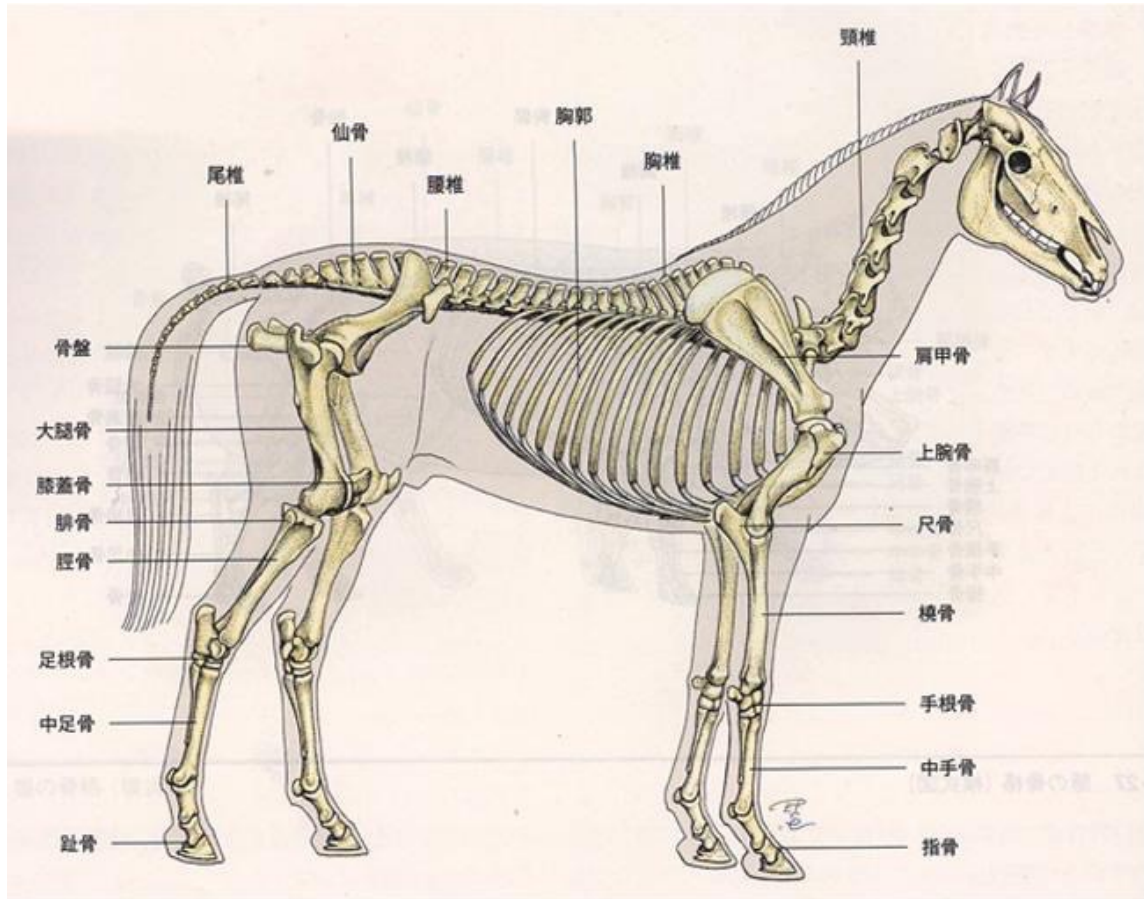
「ヒトと家畜の骨」

岡本 敏一

個体は、細胞、組織、器官、器官系から構成され、骨は支持組織一つであることを述べた。次いで骨の形状、発生、成長機能について述べた。次にヒトの骨の種類をはなし、ウマやイヌもほぼ同じであることをペーパークラフトの人体骨格模型と図を用いて示した。次に脊椎動物の進化に従って円口類、魚類、両生類、鳥類の骨の特徴を述べた。最後にブタやイヌの骨標本を示しながら、ヒトと家畜の骨を比較し、主に二足歩行と四足歩行の違いが、大後頭口の位置、脊柱の湾曲、胸郭の断面の形、前肢や後肢の骨の数と形、骨盤骨の形などの違いに現れていることを話した。



ヒトの骨格



ウマの骨格